

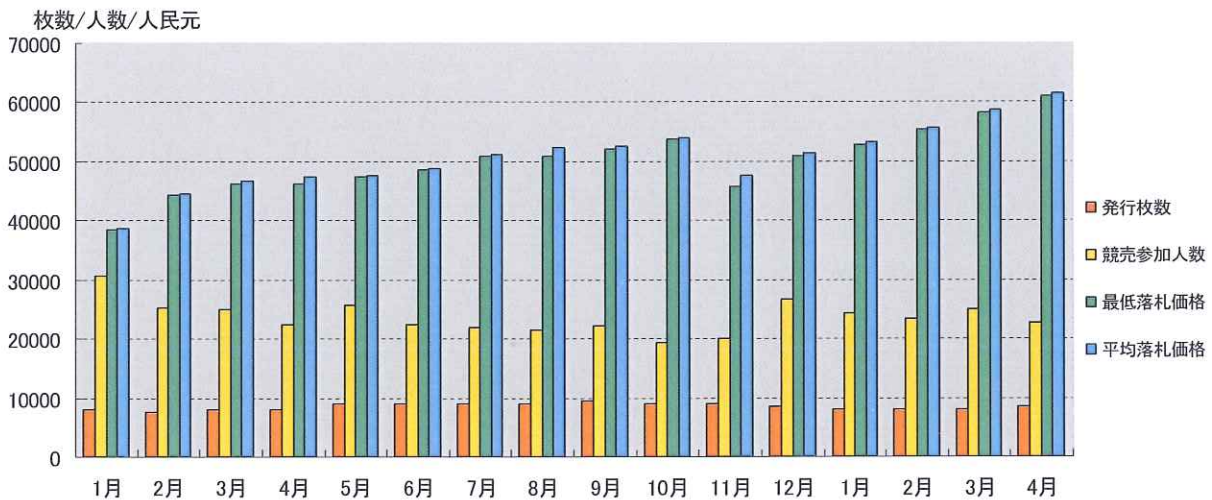
世界で一番高い鉄板

——上海市自家用車ナンバープレート——

4月14日、上海市自家用車のナンバープレートの競売が行われた結果、最低落札価格が61,000元、平均落札価格は61,626元となり、ナンバープレート落札価格の記録を更新して「世界で一番高い鉄板」と揶揄されました。

上海では自動車の急速な増加に伴う渋滞、道路未整備、駐車場不足などの問題から毎月の新車登録台数を規制しています。規制の方法はナンバープレートの発行数量を限定し、かつ競売を行うことです。競売の流れは、事前に登録した人が競売に参加でき、当日電話やインターネットによって入札し、価格優先と時間優先のルールで結果が出ます。

上海市自家用車ナンバープレート落札推移(2011年1月～2012年4月)



上記の上海市自家用車ナンバープレート落札推移をみますと、発行枚数は毎月8,000～9,000枚の範囲で安定していますが、競売参加者数は発行枚数よりはるかに上回っており、需要が大きいことが分かります。

ナンバープレートの価格が上昇している背景としては、結婚ブームやベビーブームなどによる新車購入ニーズや春節時期の購買意欲の高まりがありますが、新車購入後3ヶ月以内にナンバープレートを購入しなければならない政策もあるため、待機者が増えているのも要因の一つです。

上海以外のナンバープレートは比較的安く購入できるため、他の地域のナンバープレートを購入する上海市民も多く、そのため上海市内では「蘇」(江蘇)、「浙」(浙江)、「皖」(安徽)などのナンバープレートをよく見かけます。ただ、上海以外のナンバープレートの車は平日の通勤時間帯(7:30～9:30、17:30～19:30)は市内高速道路を通ることが出来ないという規制があるため、週末しか車を乗らないという上海市民が購入するケースも多いようです。しかし、最近では上海の自動車増加に係る諸問題に鑑み、上海市民が上海市以外のナンバープレートを購入することに対する規制が厳しくなっており、この事もまた価格が上

昇している要因の一つとなっているようです。近年人気のあった蘇州、無錫、南通、杭州などのナンバープレート価格も上昇しており、そのため最近は江西省、湖北省、河南省のような遠方まで行って購入する人も出てきているようです。

出所：上海国際商品競売有限公司等